



米沢五感塾 2010

～ 地域と企業 ～



「私がやる！」プロジェクト



目次

- (0) 五感塾とは
- (1) 米沢五感塾のテーマ
- (2) 研修内容の報告
- (3) 研修運営について

報告者：5班（ルポ担当）

遠山 卓、上野 佳太、河内 明子、鈴木 崇之、山崎 洋一郎、相原 洋介



わたやるペディア
フリー百科事典

- 案内
- メインページ
- コミュニティ
- 最近の出来事
- 新しいページ
- 最近の更新
- おまかせ表示
- 練習用ページ
- 崇之の部屋

- ヘルプ
- バグの報告
- 問い合わせ先

五感塾 [編集]

五感塾（ごかんじゅく）は、現地・現物の現実に五感でふれる体験を参加者同士や地域の協力者と共有する中で、気づく力・感じる力を高め、学び上手になることによって、**人間力**を磨く**研修**である。

『一灯照隅 万灯照国』をコンセプトに、地域の志し高い実践家から学び、己の一步を踏み出すきっかけをつかむ場である。

趣旨に賛同する団体等(イオンリテール労働組合や㈱再生日本21主催の「志塾」、新日鐵化学など)が持ち回りで企画運営しており、現地プロデューサー・事務局・参加者の三人四脚で学ぶ場作りをしている。

目次

- 1 開塾の背景
- 2 特長
- 3 参加のルール
- 4 人間力開花
- 5 過去の開催実績（一部）

※イメージ



他の言語

Afrikaans

العربية

★ Český

Cymraeg

Dansk

Deutsch

English

Esperanto

Español

Eesti

Suomi

Français

Frysk

Gaeilge

Galego

עברית

हिन्दी

Magyar

Bahasa Indonesia

Italiano

...

Nedersaksisch

Nederlands

Norsk (bokmål)

Polski

Português

Română

Русский

Svenska

Türkçe

Українська

Tiếng Việt

開塾の背景 [編集]

五感塾を始めた経緯(問題意識)について、提唱者の北村三郎氏は以下のように語っている。

■「仕事力」と「人間力」(第1回五感塾ネットワークフォーラム報告書より抜粋)

私はいすゞ自動車に35年間、勤めました。その間の大部分を教育担当として、新入社員教育、中堅社員教育、部課長教育などを手がけてきました。定年退職してから現在までの12年間、ご縁があったいくつかの企業、労働組合などで「意識改革研修」などのお手伝いをしております。

私の経験では、「企業人教育」のいちばんの目標は仕事に必要な知識、技術、技能を習得させることであり、マネジメント手法、コミュニケーションスキル、リーダーシップを含めた「仕事力」の向上であったと思います。一方、仕事力の土台である「人間力」の教育が取り残されてきたのではないかと考えています。

その理由として、長い間、企業経営が人間力よりは仕事力を求める傾向があったこと、人間力は目に見えないので研修プログラムの開発が難しかったこと、人間力の教育効果が企業経営の向上に結びつくという検証ができなかったことなどが考えられます。

「人間力」という言葉を明確に定義するのは難しいのですが、「知性(左脳)と感性(右脳)」「知育(あたま)、徳育(こころ)、体育(からだ)」「情(情緒)と理(合理)」のバランスがいい人は人間力が優れていると、私は思います。人間力を磨いている人は、学ぶ意欲にあふれ、いつも朗らかで人を元気づけるパワーが旺盛です。その人の周囲には、いい仲間が集まってくるような空気があります。

人間力は、特別な教育を受けなくても、誰でも持っているものだと思います。その人間力が、企業では仕事力の陰に隠れてしまっかなか表出できなくなっています。

このような危機感と問題意識をもつ労働組合、企業の方々と試行してきたのが、人間力を向上させるための「五感塾」という学習方法です。

特長 [編集]

五感塾の特長(場のつくりかた)は、主に以下の7点からなる。

1. 脱教室

教室を飛び出し、現場・現物から学ぶ

2. 一隅を照らす人

「一隅を照らす」生き方をしている志高い人物や、その地域の文化から学ぶ

3. 塾長がいない塾

自らの学びを自ら掴むため、主催者は「気づく・感じる」以外の意図は持たない

リンク
JA 共済連新潟
NTT データ(株)
APU
コクヨ(株)
イオンリテール(株)
人と情報の研究所
(財)米沢工業会
米沢市長の部屋
小嶋総本店
から・ころセンター
NPO 日本を美しくする会

おすすめの宿
壽宝園
招湯苑

4. 相互乗入と切磋琢磨

参加者は老若男女で多様性が高く、さらに外部組織や異業種と相互乗り入れする

5. 地域プロデューサー

現地の地域プロデューサーがその人脈を駆使し、主催者と相談しながら研修プログラムを練り上げる

6. 準備・実行・後始末

参加者は、可能な限り、研修プログラムの準備・実行・後始末に参画する

7. 割り勘・明朗会計

主催者は利益を出すことを目的にせず、割り勘・明朗会計とする

参加のルール [\[編集\]](#)

1. 3つの「最低限のマナー」を実践する

- 1) 挨拶：明るく元気に気持ちよく
- 2) 傾聴：人の話を聴く姿勢を正す
- 3) 清掃：来訪したとき以上に美しくして帰る

2. 積極的に人に関わる

心がつながる方程式：シェアリング = 自己開示* + フィードバック**

* 自己開示：ありのままの自分の、内なる思いを発信すること

** フィードバック：相手に感想や印象を伝えること

人間力開花 [\[編集\]](#)

五感塾に参加することによって、主催者が期待し得る参加者の変化として、以下のような事例があげられる。(実際の参加者の声より)

- ・「自分もやるゾ！」という気持ちが高まる(志や夢)
- ・「自分はひとりじゃない」という気持ちが高まる(孤独に耐える力)
- ・愚痴・不平不満・評論家で終わらない(すべては自分次第と思える力)
- ・足下の小さなことから着手するようになる(実践力)
- ・コツコツやろうという意識が高まる(継続力)
- ・自分を客観的に見る力がつく(自己認識力)
- ・自分の思いを周囲に向けて表現するようになる(発信力)
- ・周囲の意見に耳を傾けるようになる(傾聴力)

- ・自分をさらけ出す力がつく(自己開示力)
- ・多様な考え方や価値観を受け入れられるようになる(包容力)
- ・「違い」だけでなく「共通点」を見ることができる(共感力)
- ・組織内のキーパーソンを巻き込むアクションができる(突破力)
- ・出会いを大切にし、組織内外のネットワークとつながる(人脈力)
- ・「おかげさま」意識が高まる(感謝する力)
- ・「お互いさま」意識が高まる(協働する力)
- ・「もったいない」意識が固まる(エコ実践力)
- ・「自分はまだまだ」という意識が高まる(謙虚になる力)
- ・「あらゆることから学ぼう」という意識が高まる(素直になる力)
- ・周囲に心配りできるようになる(思いやり、おもてなし)
- ・「ないものねだり」より「あるものいかし」の視点を持つ(戦略性)
- ・先人の思いを受け継ぎ、後世に遺そうとする意識が高まる(伝承力)
- ・短期的成果だけでなく長期的成果も見れる(バランスのいい成果を出す意識) 他

過去の開催実績 [編集]

1998年のアメリカ合衆国テネシー州での開催(イオン労組)を皮切りに、帝人グループ、再生日本21など、主催者のネットワークが広がってきている。

実施年	開催地	主催者	地域プロデューサー
1998年	アメリカンテネシー州チャタヌーガ	イオン労組	運輸関係団体の副社長 ジム・フライアソンさん
2003年	高知県四万十川	イオン労組	四万十楽舎楽長 山下正寿さんほか
	長野県上田市(旧武石村)	イオン労組	信州せいしゅん村代表 小林一郎さん
2004年	大分県臼杵市	イオン労組	大分県庁由布活性化担当 若林純一さん
2005年	沖縄県	イオン労組	沖縄国際大学教授 比嘉堅さん
2006年	長野県小布施町	イオン労組	文屋代表 木下豊さん
2007年	バングラデシュ	再生日本21	国際エンゼル協会代表理事 東村真理子さん
	兵庫県伊丹市		
	新潟県佐渡島	イオン労組	「夢里仙洞」ジャーナリスト 加藤廣文さん
	愛知県岡崎市	再生日本21	志業会 辻本桂子さん
2008年	鹿児島県奄美大島	イオン労組	松下政経塾 安田壮平さん
	静岡県伊東市	再生日本21	伊東掃除に学ぶ会 代表世話人 白鳥宏明さん
	徳島県徳島市	帝人グループ	松下政経塾 中西祐介さん
	島根県海士町	イオン労組	海士町教育委員会・人間力推進プロジェクト 岩本悠さん
	山形県米沢市	帝人グループ	社団法人米沢工業会 山崎洋一郎さん
鹿児島県奄美大島	新日鐵化学	奄美地域交流プロデューサー 安田壮平さん	
2009年 (8月まで)	新潟県佐渡島	イオン労組	「夢里仙洞」ジャーナリスト 加藤廣文さん
	静岡県伊東市	再生日本21	伊東掃除に学ぶ会 代表世話人 白鳥宏明さん
	鹿児島県奄美大島	イオン労組	松下政経塾 安田壮平さん
	長野県小布施町・松代町	再生日本21	文屋代表 木下豊さん/再生日本21「志塾」3期生 宮本吉寿さん

米沢五感塾2010を紐解く

3DOORS

五感塾コンセプト:

『一灯照隅 万灯照国』 ～地域の志高い実践家から学び、はじめの一步を踏み出す～

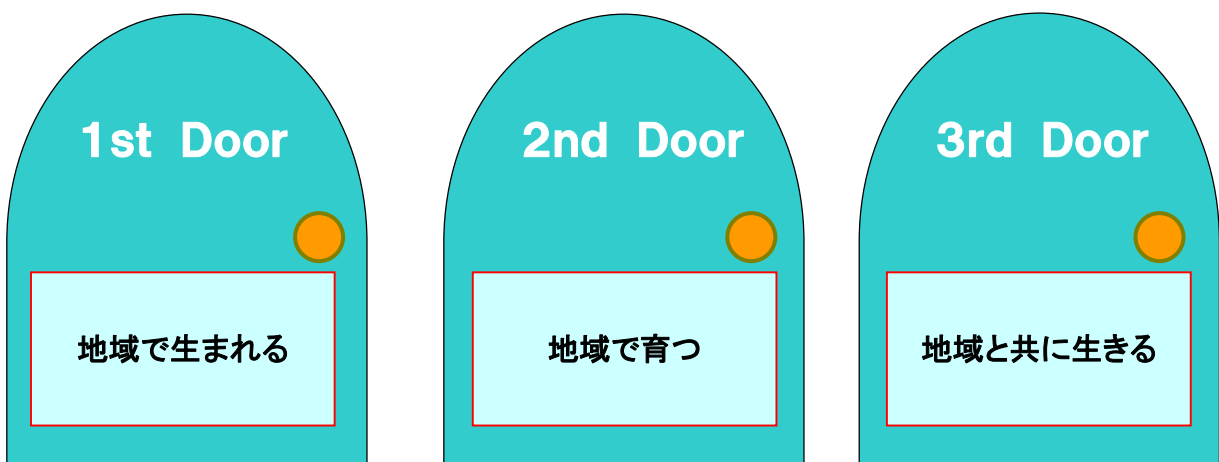
米沢五感塾2010テーマ:

『地域と企業』 ～地域と企業の関係を見つめ直し、自らの“志”の実践につなぐ～

学びの方針(掴む):

1. 万事研修(自分以外はすべて師匠、森羅万象や日常の些細なことからも学ぶ)
2. 自修自得(教えられるのではなく、自ら学び取る)
3. 一期一会(前向きかつ意識的に、出会いを縁につなげる努力をする)

米沢五感塾2010では、「地域と企業」をメインテーマとし、米沢の志高い実践家の皆様から様々なことを感じ、学び取りました。
本報告書では、下記の3つの視点(DOOR)を切り口に、参加者の学びの様子についてレポートします。



スケジュール

日程	時間	所要	場所	研修項目	内容
テーマ：地域で生まれる					
8月27日 (金)	12:50			旧米沢高等工業学校本館の展示室「階段教室」着席	
	13:00～14:00	60分	階段教室	キックオフ ・オリエンテーション ・自己紹介 ・帝人グループの歴史	座学 + 交流
	14:00～15:00	60分	記念室	秦逸三記念室	見学+休憩
				「Faith ～未来をつむぐ実験室～」	
	16:00～16:15	15分		休憩	休憩
	16:15～16:45	30分		『米沢市と帝人グループ』講話 米沢市長 安部三十郎氏	座学
	16:45～16:55	10分		質疑応答	
	16:55～17:05	10分		休憩	休憩
	17:05～18:00	55分		感想のシェアリングやディスカッション	交流
	18:00～18:45	45分	<移動>	マイクロバス or 自動車	交流
	18:45～19:00	15分		休憩	休憩
	19:00～20:00	60分	壽宝園	夕食&片付け	交流
20:00～24:00	240分		懇親会+風呂		



テーマ：地域で育つ					
8月28日 (土)	6:00～7:00	60分	壽宝園	散歩(自由参加)	交流
	7:00～8:30	90分		朝食・休憩	
	8:30～9:15	15分	<移動>	バス or 自動車	
		15分	学校内	第三中学校(創業の地)	
		15分	<移動>	バス or 自動車	
	9:15～13:30	255分	舘山公園	石碑『人織工業発祥の地』(舘山公園)	見学
				感想のシェアリングやディスカッション	交流
				芋煮づくり～昼食 芋煮準備 食事 片付け	体験
	13:30～14:00	30分	<移動>	バス or 自動車(荷物は招湯苑まで)	
	14:00～16:00	60分 60分	小嶋 総本店 (東光)	(株)小嶋総本店 社長小嶋彌左衛門氏 酒蔵など見学 『地域の教育、企業の教育(仮題)』講話	見学 + 座学
	16:00～16:30	30分	<移動>	バス	交流
	16:30～17:00	30分		感想のシェアリングやディスカッション	
	17:00～18:30	90分	階段教室	から・ころセンター(NPO不登校児支援) 伊藤正俊氏 『地域の教育、家庭の教育(仮題)』 講演	座学 + 交流
				パネルディスカッション	
18:30～19:00	30分	<移動>	バス		
19:30～21:00	90分	招湯苑	夕食&風呂 ※交代で	交流	
21:00～24:00	60分		懇親会		



テーマ：地域と共に生きる					
8月29日 (日)	6:00～7:00	60分	招湯苑	散歩(自由参加)	交流
	7:00～8:00	60分		朝食	
	8:00～8:30	30分	<移動>	マイクロバス or 自動車	
	8:30～12:30	240分	学校	トイレ掃除大会に参加 主催:NPO日本を美しくする会 山形掃除に学ぶ会 ・実践(班に分かれて) ・感想発表 ・ランチ	体験 + 交流
				終了	



1st Door

地域で生まれる

帝人グループ創業の地「米沢」にて、帝人のルーツを学ぶとともに、米沢市民によるミュージカル鑑賞、米沢市長との交流を通して、地域と企業の関係について考える。

TOPICS① 秦逸三記念館見学

山形大学工学部(旧米沢工業高等学校)は、帝人の創業メンバーの1人である秦逸三が教授として教鞭を振った場所であり、構内には秦逸三の記念館が設置されています。帝人のルーツを知る第一歩として記念館の見学をしました。



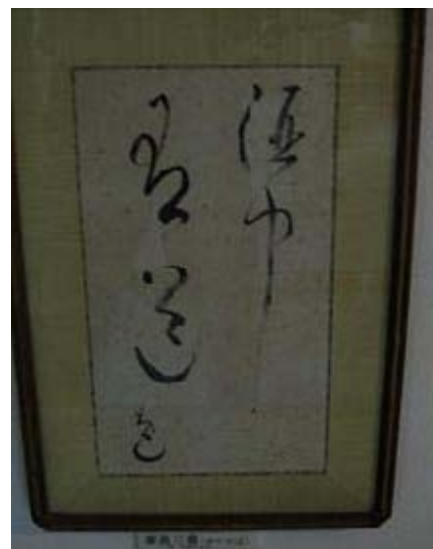
帝国人造絹糸が米沢の地に生まれて、工場撤収となるまでの〇年間の歴史が記録されています。短い期間ですが、波乱万丈の勃興期がよくわかります。



当時の貴重な品々が保管されています。



人造絹糸(レーヨン)の生産ラインが、モデル化され展示されています。



「酒中有道」酒を飲み交わす中で、よい発想が生まれる。昔から、帝人は酒好きが多い？

TOPICS② 米沢市長講話「米沢市と帝人グループ」

安部米沢市長にお忙しい中ご足労いただき、帝人グループと米沢市の関係、そして今後の米沢市の将来像について、熱い講話をいただきました。



安部三十郎 米沢市長(第34代)
米沢市の市長としては、初めてマニフェストを掲げて市政を行った。



会場に登場されるやいなや、全員と名刺交換(右上写真がその名刺)。これまでに市内全戸訪問もされたというフットワークの軽さと、人柄(人間性)を垣間見ることができました。



講話のテーマは、「米沢市と帝人グループ」
米沢を代表する人物として、①伊達政宗、②伊藤忠太(建築家、代表作: 明治神宮、築地本願寺)、③秦逸三の3人を挙げられ、米沢には伝統的に向学の気風があることをお話いただいた。
今後は、有機EL研究の第1人者である山形大学工学部の城戸淳二教授を中心に、米沢の産業・文化の更なる発展を意図されているとのこと。帝人の再誘致も望まれていました。



講話後は、参加者との意見交換。
地方行政のあり方、市政方針、教育など様々な観点で、市長の考えをお聞きすることができました。

VOICE of 塾生

- ・ 講話を通して市長の誠実な人柄、人間性が感じられた。
- ・ 市長のビジョンが明確になっている。会社でその場しのぎの発言をしてしまう自分を見つめ直したい。
- ・ 自身の想いを持ち続け、そして発信し続けることの大切さを学んだ。



TOPICS③ 帝人創業の地を訪れる（第三中学校、御成山公園）

帝人ゆかりの地を訪れるべく、帝国人造絹糸の工場があった米沢市立第三中学校と、帝人創立 50 周年に建立された石碑（御成山公園内）を見学しました。

■ 第三中学校訪問



第三中学校の一角に、「日本初の人造絹糸工場跡」という看板が立てられています。



広いグラウンドを眺めながら、その時代の米沢では、これほどまである広さの工場は、さぞかしインパクトのあるものであったに違いないと、当時の工場やそこで実際に働いていた人々の姿を想像し、創業の時代に思いを馳せる参加者もみられました。

■ 御成山公園



「人織工業発祥の地」と刻まれた石碑。
帝人創立 50 周年記念に建立され、側面には当時の大屋晋三社長の言葉が刻まれています。



御成山公園は高台にあり、第三中学校を望むことができました。あらためてその広さを実感させられました。

地域で育つ

銘酒「東光」で知られる小嶋総本店、不登校児支援の NPO 法人「から・ころセンター」の皆さんと、地域の教育について考えました。

TOPICS① ㈱小嶋総本店 「地域の教育、企業の教育」

酒造資料館を見学した後、社長の小嶋彌左門氏より「地域の教育・企業の教育」をテーマに、小嶋氏が考える教育とは何か、そして現代の教育にはどのような取り組みが必要か、などを話いただきました。



小嶋総本店さんの酒蔵資料館です。慶長2年(1597年)創業の米沢藩上杉家御用酒屋であり、この資料館には、昔ながらの造り酒屋の様子と、当時の酒造りの道具が展示されています。



当時使用していた酒樽です。一升瓶にして約3000本分の容量があります。写真中央で説明されているのは、小嶋総本店の宮崎さん。米沢弁も交えながら、わかりやすく紹介いただきました。



小嶋総本店社長の小嶋弥左衛門氏。地域の教育と企業の関わりについて、講話いただきました。子供達が自分の生まれ育った地域に愛情と誇りを持つことの重要性を認識され、小学生対象に米沢歴史寺子屋という取り組みを数年にわたって続けていらっしゃるなど、強い思い・信念を持って草の根で活動されている方のお話を、参加者はみな真剣に、そして大変興味深く拝聴しました。



講話後は、銘酒「東光」を試飲させていただきました。美味しかった～。

VOICE of 塾生

- 「家庭が人間関係の最小単位であり、地域はその集合体であると理解した。家庭教育・学校教育でできていないことが企業に期待されているというお話だったが、実際には企業は(教育の)足りない人財は採らないと思う。やっぱり(教育の)基本は家庭だと思う」



TOPICS② から・ころセンター「地域の教育、家庭の教育」

NPO 法人から・ころセンター(体と心の発達支援情報センター)代表の伊藤氏およびメンバーの片上氏、吉田氏より、「地域の教育・家庭の教育」をテーマにそれぞれご自分の経験も交えながらお話いただきました。



から・ころセンターの皆さん。
不登校、引きこもりの方々とその関係者のために、から・ころセンターを設立。
週3回、引きこもりの若者の集いの場となる「からん・ころん広場」を開催する他、保護者の方の会やサークル活動などの取り組みをされている。



講演では、伊藤さんは「から・ころセンター」設立の経緯と想いについて、娘さんとの経験談も交えてお話いただきました。

片上さんは、若者たちに対してセンターでどのように接しているのか具体的なお話を、吉田さんからは、若者達が非行に走る原因について、元教員の経験を踏まえてお話いただきました。

講師の皆さんの熱い志やお話を目の当りにし、私たちが地域や家庭で人を育てる上で何を大切にしていけばよいのかを深く考えさせられました。

講演中は皆真剣に聴き入っており、さらに講演後の質問セッションでは、多くの質問や意見が飛び交いました。各々が自身の家庭や職場など身近な環境と重ね合わせながら、講演の内容を五感で感じ、反応している様子が見受けられました。

VOICE of 塾生

- ・ このセッションは、数あるセッションの中でも最もインパクト(「思い」の濃度が濃い)があり、最も共感を得られたセッションであったと感じました。
- ・ 自分の子どもが2歳でしつけ適齢期だが、子どもに対して過保護になっているというお話にドキッとしました。
- ・ 会社の中でいい親、いい後輩をつくる。それが社会(をよりよくすること)につながっていると思う。
- ・ 「親が仕事に一生懸命になっているために、家庭におけるモデルが不在になっている。良いモデルでも悪いモデルでもよい。なぜそうなっているかの説明があればよい。意味のわからない不在感が最も問題である。」という言葉が印象的でした。結局、つまるところは、子どもとの質のよいコミュニケーションが不足しているということなんだろう。子どもとの自分の関わり方はどうなんだろうか、と見直す良い機会になった。

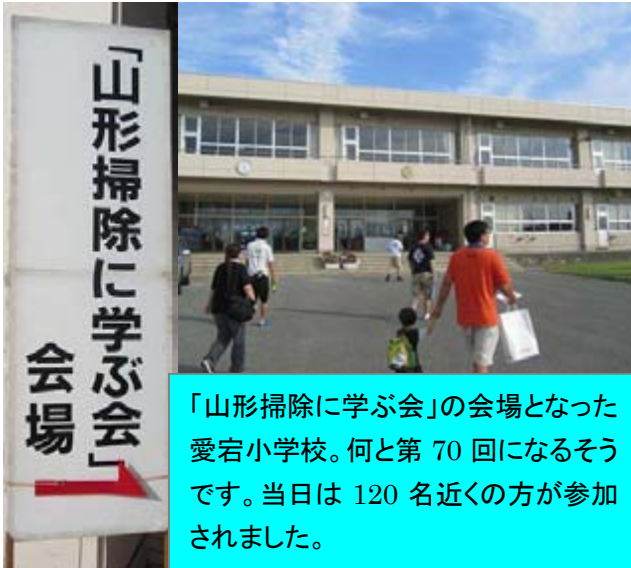


3rd Door

地域と共に生きる

米沢市立愛宕小学校で開催されたトイレ掃除大会に参加し、地域で一隅を照らし続けている志高い方々の想いに触れました。

TOPICS① トイレ掃除大会に参加



「山形掃除に学ぶ会」の会場となった愛宕小学校。何と第 70 回になるそうです。当日は 120 名近くの方が参加されました。



トイレ掃除の道具の数々。その種類の多さにびっくり。それぞれの特徴、用途を理解して、適材適所で道具を活用していきます。仕事術にも通ずるかも??



いよいよ掃除スタート！
最初は余裕を見せてます。



徐々に余裕がなくなってきました。
素手・素足での掃除に戸惑いを覚える人も。



もはや余裕ゼロ(無心の境地?)です。

VOICE of 塾生

- ・ 掃除が終わったあと、達成感があった。いくらでもきれいになるので嬉しかった。
- ・ 最初は引いていた便器担当のメンバーが、作業をすすめていくうちにだんだんと寡黙になり、作業に没頭していくのがわかった。自分が入らなかったのが残念だった。また、最初は臭かったトイレだが、掃除が進んでいくにつれて、その臭いがなくなっていくのがわかった。
- ・ 今の時点では、この体験が今後どのように自分の糧になっていくのかはまだわからない。ただ、掃除を終えての「爽快感」は感じている。



Secret Door

番外編

米沢五感塾の3日間、他にも様々な学びの場面がありました。

■ 芋煮体験



①まずは芋を煮ます。



②続いて野菜、こんにゃくなどを入れます。



③そして米沢牛を、これでもかっ!! と入れます。



④山形出身の川村さんが、味付けします。(醤油ベースに隠し味噌)



⑤完成で〜す。美味しそう!



⑥炎天下の中、汗をかきながら美味しくいただきました。

■ 早朝散歩&ゴミ拾い



散歩の前に準備体操。元インストラクターの河野さんがレクチャーしてくれました。



みんなでゴミ拾い。ゴミを捨てる人から捨てない人へ、そして、捨てない人から拾う人へ。



散歩をしていると、こんな景色にも出会えます。まさに早起きは三文の徳。



この日の釣果(?) 米沢はきれいな町で
ごみも少なかったです。

■ ともくん特集

今回の米沢五感塾には、最年少参加者として帝人ファーマ(株)上田さんの息子さんの友仁君(4歳)が参加しました。その純粹さに、塾生の皆が癒されました。そんなともくんのクリップ集です！



自己紹介。
ちょっと緊張。。



ハードスケジュール
にお疲れ。(爆睡中)



パパと同じポーズ！
(体操中)



完全におもちゃにさ
れてる気がする。。



最後はすっかり慣れて、
得意気に語ってます！

■ 参加者名簿

帝人グループはもちろん、他の企業、大学から多くの志高い塾生が集いました。性別、年齢も様々で、3日間を通してお互いに様々な刺激をもらいました。

		氏名	会社名	備考
1班	長	山田 正幸	インフォコム(株)	リーダー塾第2期生
	副	原 裕美	帝人クリエイティブスタッフ(株)	リーダー塾第2期生
		伊藤 聡昌	JA共済連新潟	
		伊藤 史	帝人在宅医療(株)	
		上田 美加子	NTTデータ(株)	
2班	長	水田 雄一郎	帝人在宅医療(株)	リーダー塾第2期生
	副	奥深 浩史	帝人ファーマ(株)	リーダー塾第2期生
		大眉 裕子	NTTデータ(株)	
		長谷川 和宏	JA共済連新潟	
3班	長	浪岡 誠二	帝人ファーマ(株)	リーダー塾第2期生
	副	磯田 桂子	帝人クリエイティブスタッフ(株)	リーダー塾第2期生
		川村 崇	帝人在宅医療(株)	
		北村 三郎	人と情報の研究所	
		杉本 しのぶ	立命館アジア太平洋大学	
4班	長	北田 英之	帝人ファーマ(株)	リーダー塾第2期生
	副	河野 洋允	帝人在宅医療(株)	リーダー塾第2期生
		上田 仁志	帝人ファーマ(株)	
	児	上田 友仁	3歳	お子さん
		高橋 大	コクヨ(株)	
		武井 衛	帝人クリエイティブスタッフ(株)	事務局
		坂本 晃子	イオンリテール株式会社	
5班	長	遠山 卓	帝人クリエイティブスタッフ(株)	リーダー塾第2期生
	副	上野 佳太	NI帝人商事(株)	リーダー塾第2期生
		相原 洋介	帝人クリエイティブスタッフ(株)	事務局
		河内 明子	立命館アジア太平洋大学	
		鈴木 崇之	帝人ファーマ(株)	(前)事務局
		山崎 洋一郎	(財)米沢工業会	現地プロデューサー

■ 各班の役割について

冒頭の「五感塾とは？」でも説明しましたとおり、参加者ができるかぎり、準備・実行・後始末に参画することが五感塾の特長となっています。事前に各班ごとの役割を以下の通り決め、自分たちで主体的に塾を運営しました。

1班の役割: 1日目の進行係	2班の役割: 2日目の進行係
●全セッションの司会進行	●全セッションの司会進行
●一部セッションの企画	●一部セッションの企画
●1日目のタイムキープ	●2日目のタイムキープ
●移動のサポート(円滑な移動を支援)	●移動のサポート(円滑な移動を支援)

3班の役割: 会計担当	4班の役割: 3日目の進行係
米沢五感塾の出納管理全般	●全セッションの司会進行
●1日目の最初に参加費を回収	●一部セッションの企画
●入場料などの支払い	●3日目のタイムキープ
●後日、会計報告書作成・全体発信	●移動のサポート(円滑な移動を支援)

5班の役割: ルポ・写真担当
研修の感想をまとめ、報告書を作成する
●研修期間中の写真撮影
●各セッションの様子をメモなどに記録
●参加者へのインタビューと記録
●報告書の作成・参加者への送付

■ 現地プロデューサー & 主催者事務局

◆ 現地プロデューサー:



山崎洋一郎
(社)米沢工業会

◆ 事務局:



武井 衛
帝人クリエイティブスタッフ(株)
人財開発グループ長



水越 雅美
帝人クリエイティブスタッフ(株)
人財開発グループ